

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	コミュニケーション技術 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期 火3限	教室名	402
担 当 教 員	菊本智泰	実務経験と その関連資格	社会福祉士 障がい者施設勤務 サービス管理責任者 介護職員初任者研修講師			
《授業科目における学習内容》						
人間の理解と関連しながらコミュニケーションの基本を理解した上で具体的なコミュニケーション技法の取得を目指す						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% レポート 20% グループワークの中の態度・発表 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座5巻中央法規出版 コミュニケーション技術						
《授業外における学習方法》						
人間の理解、1巻の熟読						
《履修に当たっての留意点》						
介護福祉士に求められるコミュニケーションの基本の理解を習得できることが必要						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護におけるコミュニケーションの意義、目的を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 介護におけるコミュニケーションの展開過程			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	傾聴の意義と技法を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考	
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションの基本技術 コミュニケーション態度			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	言葉以外のコミュニケーションの役割を理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考	
		各コマにおける授業予定	言語・非言語・準言語コミュニケーションの基本			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	集団でのコミュニケーションの意義を理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考	
		各コマにおける授業予定	集団におけるコミュニケーション技術 回想法			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーション支援の基本となる留意点、考え方を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考	
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション障害への対応の基本 振り返り			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーション障害の対応方法を学んで行きコミュニケーション技術理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族の意向表出の支援の方法を知ることができる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	家族とのコミュニケーション 家族との関係づくり		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族が持つ介護ストレスと、それに対応したコミュニケーションを理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	家族関係と介護ストレスへの対応		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護におけるコミュニケーションの意義・目的を理解し介護を提供できるようにする	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	介護におけるチームのコミュニケーション 報告連絡相談の技術		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	記録の意義、目的の理解をしていく	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	記録の技術 介護保険の目的		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職が書いて活用する記録～書き方、活用をケアにつながる事理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	記録の実際		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職が行う、会議の意義、目的、種類、役割を理解できるようになる 議事のプロセスを知ることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	会議、議事進行、説明の技術 会議の議事進行		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例検討におけるコミュニケーションの基本姿勢を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	事例検討に関する技術		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	利用者の個人情報を守るために、必要なコミュニケーションを理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	情報の活用と管理のための技術		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護におけるコミュニケーションの役割、障害に応じた対応の確認ができるようにする	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	まとめと試験対策		

学 科	介護福祉士		科目区分		授業の方法	演習
科目名	医療的ケア(講義)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担当教員	笠 陽子	実務経験とその関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			

《授業科目における学習内容》

医療職との連携のもと医療的ケアを安全・適切に実施できる様に必要な知識・技術を習得出来る

《成績評価の方法と基準》

科目終了試験:70% 出席評価点20% 平常評価点10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版 2019.

《授業外における学習方法》

授業における小テストや配布プリント・授業内容の復習をしっかりと行い授業に臨む

《履修に当たっての留意点》

医療的ケアは利用者に対して直接的な影響を与えるケア技術である。正しい知識・技術の取得を持って安全な医療的ケアを行える様に介護福祉士を目指す。

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	医行為とはどういうことか、その法的理解などについて理解する 介護福祉職等における喀痰吸引制度と「医療的ケア」について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 医療的ケアとは 医行為とは(法的な理解)について		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療、医療の倫理について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	医療の倫理、倫理上の原則、自己決定の権利、個人情報の保護 利用者、家族に対する説明と同意について		
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	個人の尊厳と自律について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	個人の尊厳と自律、利用者の尊厳を守り、自律を助ける支援、 利用者、家族の気持ちの理解について		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	喀痰吸引制度(社会福祉士及び介護福祉士法の改正)について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	医療制度とその変換、医療提供のしくみ、家族のケア負担とその解決法、社会福祉士及び介護福祉士法の改正、改正法による喀痰吸引法制度の概要について		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療的ケアと喀痰吸引等の背景、その他の制度について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	喀痰吸引等研修、介護福祉士養成課程における医療的ケアの学習、社会福祉士及び介護福祉士法以外の法制度について		

授業の方法		内 容			授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	安全に喀痰吸引や経管栄養を提供する重要性を理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	喀痰吸引や経管栄養の安全な実施、リスクマネジメントの考え方と 枠組み、ヒヤリハット、アクシデント報告、その書き方について		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	救急蘇生について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	救急蘇生とは、必要性、一時救急救命、救急蘇生、救急蘇生法の実 際、AEDについて		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	清潔保持と感染予防について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	感染とは、地域集団、施設・組織としての予防策、手洗い・うがいの基本、 知識と手順について、手洗いの演習実施		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職の感染予防について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	介護福祉職の健康管理、ワクチン接種とは・原理と種類、使い捨て手袋や ガウン等の使用の必要性、標準予防策について、タダシイマスクやエプロ ンのつけ方の実施		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	療養環境の清潔、消毒法について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	環境の違いや感染性のある体液、嘔吐・排泄物の扱い、医療廃棄物の処 理について		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	感染性廃棄物の処理のしかたについて理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	ビニール袋を使った簡易エプロンの作成、模擬吐物の処理の実施演習		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	消毒と滅菌について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	消毒と滅菌の違い、消毒剤の使い方と留意点について		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	健康状態の把握について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	平常状態とは、県呼応上体を知る項目（バイタルサイン）、体温、脈拍、呼 吸、血圧について、測定の実施		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	急変状態について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	急変状態とは、急変時の対応と事前準備（報告、連絡文、応急手当、記 録）について		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	授業のまとめ、振り返り	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	振り返り		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	コミュニケーション技術Ⅱ(点字)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時間	後期 金3限	教室名	401
担当教員	三輪 香織 長尾 知恵	実務経験と その関連資格	点字技能士としてライトハウスにて支援活動			
《授業科目における学習内容》						
視覚障害の特性に応じた介護に関する知識や技術を理解し、コミュニケーション手段として点字、福祉用具を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
試験70% 出席20% レポート、態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
点訳の広場 (岡山県赤十字点訳奉仕団) 生活支援技術Ⅲ最新介護福祉士養成講座8(中央法規)						
《授業外における学習方法》						
福祉用具を障害者に合わせて用途があることを、見学していく						
《履修に当たっての留意点》						
生活支援技術Ⅱを授業前に学習とする						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	視覚障害について医学的・心理的側面から理解することができるようになる	生活支援技術Ⅲ 最新介護福祉士 養成講座8(中央 法規)	教科書の指定部分や、 関連する科目について 学習しておく	
		各コマにおける授業予定	視覚障害者の介護①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	観察の視点を学び、理解することができるようになる	生活支援技術Ⅲ 最新介護福祉士 養成講座8(中央 法規)	教科書の指定部分や、 関連する科目について 学習しておく	
		各コマにおける授業予定	視覚障害者の介護②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	支援の方法を学び、理解することができるようになる	生活支援技術Ⅲ 最新介護福祉士 養成講座8(中央 法規)	教科書の指定部分や、 関連する科目について 学習しておく	
		各コマにおける授業予定	視覚障害者の介護③			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職が果たすべき役割を理解することができるようになる	生活支援技術Ⅲ 最新介護福祉士 養成講座8(中央 法規)	教科書の指定部分や、 関連する科目について 学習しておく	
		各コマにおける授業予定	事例で学ぶ			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉機器について知り使用方法を理解することができるようになる	生活支援技術Ⅲ 最新介護福祉士 養成講座8(中央 法規)	教科書の指定部分や、 関連する科目について 学習しておく	
		各コマにおける授業予定	福祉機器について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の特徴について学び、理解できるようになる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	点字① 点字の歴史について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の読み方について理解できるようになる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	点字② 50音について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の読み方について理解することができるようになる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	点字③ 濁音について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の読み方について理解することができるようになる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	点字④特殊音について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の読み方について理解することができるようになる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	点字⑤促音について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の表記について理解することができる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	点字⑥数字の書き方について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の表記・点字仮名遣いについて理解することができる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	点字⑦かな使いについて		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の表記・点分かち書きについて理解することができる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	点字⑧ますあけについて		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の表記・数字、記号について理解することができる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	点字⑨ 符号について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字と視覚障害についての理解度の確認ができる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	全体のまとめ		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	社会の理解		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	一年生		学期及び曜時間	後期	教室名	402
担当教員	萩原 恭子	実務経験と その関連資格	社会福祉士/障害児施設にて勤務			

《授業科目における学習内容》

本講義では、住んでいる地域を基盤とした利用者の生活とその継続的な支援についての基礎的知識と、社会保障の制度や施策について基礎的な知識を身につけることを目的とする。前半の学期(2021年後期)では、次の3点について学ぶ。
 ①人間の生活と社会との関わり、自助・互助・共助・公助の関係について理解する。
 ②利用者の生活を地域で支えるために、地域共生社会の考え方と地域包括ケアシステムの仕組みと、実現するための方法や施策を理解する。
 ③社会保障制度の基本的な考え方と仕組みを理解する。そのうえで、日本における社会保障の現状と課題をとらえていく。

《成績評価の方法と基準》

①素点 定期試験、小テスト等の得点 70% ②出席評価 20% ③平常評価 レポート、授業態度、ノート等 10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

中央法規出版 介護福祉士養成講座社会の理解。福祉法令集。

《授業外における学習方法》

社会の現在と変化を知るために、新聞等で社会福祉に関する事項を読む。その中から関心を持った内容について自分なりの考察を行い、クラスでプレゼンテーションを行い、情報を共有する。

《履修に当たっての留意点》

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	人間の生活を幅広くとらえる	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	人間と社会を多面的に捉える視点について理解する。センの潜在能力について、フランクルの3つの価値について学び、利用者の生活を理解することにつなげる		
第2回	授業を通じての到達目標	生活の基本機能とは何か ライフスタイルの変化	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	多様な生活の捉え方があることを理解する。家族機能の変化、生活と働き方の変化について理解する。日本の少子高齢化における課題を理解する。		
第3回	授業を通じての到達目標	家族の機能と役割について学ぶ	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	家族の定義、家族と世帯の変容、家族の多様な機能を理解する。		
第4回	授業を通じての到達目標	社会と組織の機能と役割、地域と地域社会、地域社会における生活支援について学ぶ	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	社会と組織の概念を学び、機能と役割を理解する。地域の生活の継続において自助、互助、共助、公助の重要性を理解。福祉ミックスの考え方、ソーシャル・サポート・ネットワークについて理解する。		
第5回	授業を通じての到達目標	「社会と生活のしくみ」のまとめ	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	第一章のまとめと演習		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	地域福祉の発展について学ぶ		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	地域福祉の成り立ちと取り組みについて理解する。社会福祉協議会について、地域福祉計画について理解する。災害時の地域社会での対応について、事例を通して考える。			
第7回	授業を通じての到達目標	地域共生社会とは		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	地域共生社会と少子高齢化、人口減少問題との関係を理解する。社会的排除ではなく社会的包摂をめざし、多文化共生社会を目指すという理念を理解する。実現に向けた取り組みを学ぶ。			
第8回	授業を通じての到達目標	地域包括ケアとは		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	地域包括ケアという考え方が出てきた背景とその理念を理解。地域包括ケアシステムにおいて、介護福祉士として、どのような活動が期待されているか理解する。			
第9回	授業を通じての到達目標	「地域共生社会の実現に向けた制度や施策」のまとめ		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	第二章のまとめと演習			
第10回	授業を通じての到達目標	社会保障の基本的な考え方について		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	私たちの生活と社会保障制度の関係、その必要性を理解。制度や種類を知る。目的と機能を学ぶ			
第11回	授業を通じての到達目標	日本の社会保障制度の発達		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	日本の社会保障制度の発達について学ぶ。社会経済状況と社会保障制度の関係を理解。社会保障改革の方向性を知る。			
第12回	授業を通じての到達目標	日本の社会保障制度のしくみ		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	給付と負担について学ぶ。社会保障制度の種類について体系的に学ぶ。それぞれの社会保障制度の概要を学ぶ。			
第13回	授業を通じての到達目標	現代社会と社会保障制度		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	少子高齢化によって社会保障制度がどのような影響を受けるか。日本の財政問題と社会保障について学び、給付と負担の関係の理解を深め、持続可能な社会保障制度について考える。			
第14回	授業を通じての到達目標	「社会保障制度」のまとめ		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	第三章のまとめと演習			
第15回	授業を通じての到達目標	社会の理解Iのまとめ		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	社会の理解Iの復習と演習			

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	こころとからだのしくみ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験とその関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			
《授業科目における学習内容》						
からだの基本的なしくみの理解、こころがからだに及ぼす影響について学ぶ。また、生活の障害はどのようなメカニズムで生じるのか、それにどのように対応するのかを学び、学生が根拠をもって生活援助の妥当性について説明することができる。						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:最新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) 2022 参考:からだのしくみ事典(成美堂出版)						
《授業外における学習方法》						
授業で学んだ内容をノート等にまとめ、生活援助技術など他科目と関連づけて学習できるよう復習しておく						
《履修に当たっての留意点》						
精神的・身体的・社会的な健康を理解したうえで、利用者の健康状態を判断する基準、そして介護福祉士として利用者の生活の困難さを測る基準となる知識をしっかりと理解していきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人体の構造・機能について振り返りを行い、説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	1年前期のからだのしくみについての振り返り講義 人体各部の名称と役割(内臓、骨、関節、など)を理解する			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	人体の構造・機能について振り返りを行い、説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	1年前期の体のしくみについての振り返り講義 内臓のしくみを理解する。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間に必要な不可欠な栄養素とそのはたらきについて説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	第5章 食事に関連したこころとからだのしくみの講義 第1節 摂食・嚥下に関わる解剖生理を説明できる 食事の種類について理解する			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	心身の機能低下が食事に及ぼす影響について説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	第5章 食事に関連したこころとからだのしくみの講義 第2節 加齢や疾病による心身の機能低下が食事にどのような影響を及ぼすか理解する			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	食事動作に影響する要因の内容を説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	第5章 食事に関連したこころとからだのしくみの講義 第2節 心身の機能低下の具体的な内容を理解する			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 食事における緊急性を伴う異常について学び、医療職との連携の重要性について説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	第5章 食事に関連したところとからだのしくみの講義 第3節 変化の気づきと対応 食事での必要な観察事項について理解する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 食事から排泄までの流れを再確認し、排便のしくみについて説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	第7章 排泄に関連したしくみの講義 第1節 排泄に必要な行為を理解する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 泌尿器の解剖生理や排泄に必要な行為、排尿のしくみを説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	第7章 排泄に関連したしくみの講義 第1節 泌尿器の解剖生理について振り返りを行い、排泄に必要な行為、排尿のしくみについて理解できる		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 心身の機能低下が排泄に及ぼす影響について説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	第7章 排泄に関連したしくみの講義 第2節 排泄障害の種類と特徴を理解する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 変化の気づきと対応について説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	第7章 排泄に関連したしくみの講義 第3節 排泄の観察方法とポイントを理解し、排泄状態の観察・記録・報告の重要性を学び、理解する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 睡眠のしくみについて説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	第8章 休息・睡眠に関連したところとからだのしくみの講義 第1節 睡眠を引き起こすしくみについて、良質な睡眠のための環境条件や生活習慣について理解する		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 心身の機能低下が睡眠に及ぼす影響について説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	第8章 睡眠に関連したしくみの講義 第2節 加齢による睡眠に及ぼす影響について理解する 睡眠障害の種類と特徴について理解する		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 睡眠状態を観察のポイント、変化の気づきと対応を説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	第8章 睡眠に関連したしくみの講義 第3節 睡眠状態の観察ポイント、不眠・過眠への対応について理解する		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 前期講義で学んだ内容を振り返り、生活活動別に人の生活を支援する方法を根拠を持って述べるができる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	前期講義まとめ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 ところとからだのしくみの国家試験の過去問に取り組むことによって自分の課題を説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	ところとからだのしくみの国家試験過去問に取り組む、出題傾向と対策について理解する。		

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分		授業の方法		演 習	
科 目 名	医療的ケア(講義)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15	時間(単位)	
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名			
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験とその関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。					
《授業科目における学習内容》								
医療職との連携のもと医療的ケアを安全・適切に実施できる様に必要な知識・技術を習得出来る								
《成績評価の方法と基準》								
科目終了試験:70% 出席評価点20% 平常評価点10%								
《使用教材(教科書)及び参考図書》								
教科書:最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版 2022.								
《授業外における学習方法》								
授業における小テストや配布プリント・授業内容の復習をしっかりと行い授業に臨む								
《履修に当たっての留意点》								
医療的ケアは利用者に直接的な影響を与えるケア技術である。正しい知識・技術の取得を持って安全な医療的ケアを行える様に介護福祉士を目指す。								
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容			
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	医行為とはどういうことか、その法的理解など、介護福祉職等における喀痰吸引制度と「医療的ケア」について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日より取り組む内容の予習を行なっておく			
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 医療的ケアとは、医行為とは(法的)について理解する					
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療、医療の倫理について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日より取り組む内容の予習を行なっておく			
		各コマにおける授業予定	医療の倫理、倫理上の原則、自己決定の権利、個人情報の保護利用者、家族に対する説明と同意について理解する					
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	個人の尊厳と自律について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日より取り組む内容の予習を行なっておく			
		各コマにおける授業予定	個人の尊厳と自律、利用者の尊厳を守り、自律を助ける支援、利用者、家族の気持ちを理解する					
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	喀痰吸引制度(社会福祉士及び介護福祉士法の改正)について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日より取り組む内容の予習を行なっておく			
		各コマにおける授業予定	医療制度とその変換、医療提供のしくみ、家族のケア負担とその解決法、社会福祉士及び介護福祉士法の改正、改正法による喀痰吸引法制度の概要について理解する					
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療的ケアと喀痰吸引等の背景、その他の制度について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日より取り組む内容の予習を行なっておく			
		各コマにおける授業予定	喀痰吸引等研修、介護福祉士養成課程における医療的ケアの学習、社会福祉士及び介護福祉士法以外の法制度について理解する					

授業の方法		内 容			授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	安全に喀痰吸引や経管栄養を提供する重要性を説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	喀痰吸引や経管栄養の安全な実施、リスクマネジメントの考え方と枠組み、ヒヤリハット、アクシデント報告、その書き方について理解する		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	救急蘇生について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	救急蘇生とは、必要性、一時救急救命、救急蘇生、救急蘇生法の実際、AEDについて理解する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	清潔保持と感染予防について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	感染とは、地域集団、施設・組織としての予防策、手洗い・うがいの基本、知識と手順について理解する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職の感染予防について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	介護福祉職の健康管理、ワクチン接種とは・原理と種類、使い捨て手袋やガウン等の使用の必要性、標準予防策について、正しいマスクやエプロンのつけ方を理解する		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	療養環境の清潔、消毒法について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	環境の違いや感染性のある体液、嘔吐・排泄物の扱い、医療廃棄物の処理について理解する		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	感染性廃棄物の処理のしかたについて説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	ビニール袋を使った簡易エプロンの作成、模擬吐物の処理を理解する		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	消毒と滅菌について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	消毒と滅菌の違い、消毒剤の使い方と留意点について理解する		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	健康状態の把握について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	平常状態とは、県呼応上体を知る項目（バイタルサイン）、体温、脈拍、呼吸、血圧について、測定の実施を理解する		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	急変状態について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	急変状態とは、急変時の対応と事前準備（報告、連絡文、応急手当、記録）について理解する		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	授業のまとめ、振り返り	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	今期で学んだ内容を理解する		

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	こころとからだのしくみ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期 火曜2限	教室名	401
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験とその関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			

《授業科目における学習内容》

からだの基本的なしくみの理解、こころがからだに及ぼす影響について学ぶ。また、生活の障害はどのようなメカニズムで生じるのか、それにどのように対応するのかを学び、学生が根拠をもって生活援助の妥当性について説明することができる。

《成績評価の方法と基準》

科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規)
参考書:からだのしくみ事典(成美堂出版)

《授業外における学習方法》

授業で学んだ内容をノート等にまとめ、生活援助技術など他科目と関連づけて学習できるよう復習しておく

《履修に当たっての留意点》

精神的・身体的・社会的な健康を理解したうえで、利用者の健康状態を判断する基準、そして介護福祉士として利用者の生活の困難さを測る基準となる知識をしっかりと理解していきましょう。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標 こころとからだのしくみについて必要性を理解できる こころのしくみについて理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	こころとからだのしくみの講義オリエンテーション こころのしくみ、健康とは何か、マズローの基本的欲求について		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標 こころのしくみについて、マズローの欲求段階説、学習とは、記憶とはを理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	こころのしくみ、人間の基本的欲求について、介護現場でどう生かすことができるのか、学習とは、条件付けと観察学習について、短期記憶、長期記憶について		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標 こころのしくみ、意欲と動機付け、代表的な適応機制について理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	適応のしくみ、適応障害、適応機制、ライチャードによる高齢者の人格の分類について		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標 介護の根拠となる人体の構造や機能について 人体の骨格、身体各部、筋肉の名称について理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	人体の骨格の名称、身体各部の名称、筋肉の名称について		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標 身体各部の役割を理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。

第5回	義形式	各コマにおける授業予定	細胞のはたらき、遺伝、脳と神経、自律神経の働きについて	座こころとからだのしくみ・配布資料 ・からだのしくみ事典	授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容

第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚器について理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	視覚器、平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器、外皮の各部の名称と役割について	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	口腔器、呼吸のしくみについて理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	口腔、歯、唾液、咽頭、喉頭、声帯、肺、気管支各部の名称と役割について 呼吸のしくみについて 人体各部の名称テスト	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の解剖や大循環・小循環のメカニズムについて理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	心臓の解剖や大循環・小循環のメカニズムについて 血管、血液のしくみについて	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	・リンパ・免疫・アレルギーについて解剖や生理的機能を理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	・リンパ・免疫・アレルギーについて 生体防御システム、ワクチンのしくみについて	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器官について構造や働きを理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	口腔より肛門までの消化器について構造や働きについて	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化腺について(肝臓脾臓膵臓)の解剖や生理的機能を理解することができる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	肝臓、胆嚢、脾臓、膵臓の構造、はたらきについて 各部の消化腺やホルモンのはたらき、糖尿病について	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿の分泌・排泄に関する臓器の解剖や生理的機能および生殖器についての解剖や生理的機能、内分泌について理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	尿の分泌・排泄に関する臓器の解剖や生理的機能について 生殖器についての解剖や生理的機能について 内分泌ホルモンについて	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の生理的作用、骨格、筋肉の名称、はたらき、関節との関係について理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	骨の役割、筋肉との関係、内臓筋のはたらき、関節の動き、可動域について	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	生命の維持と恒常性のしくみについて理解できる 介護福祉職に必要な薬の知識	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	バイタルサインとは 高齢者によく使われる薬、高齢者に薬の副作用が多い理由、注意が必要な薬について	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活支援のために必要な、人間のこころのしくみやからだの解剖生理的機能、メカニズムについて理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	前期講義の振り返り	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	

学 科	介護福祉学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	医療的ケア(講義)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	後期	教室名	402
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験とその関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。		

《授業科目における学習内容》

医療職との連携のもと医療的ケアを安全・適切に実施できる様に必要な知識・技術を習得出来る

《成績評価の方法と基準》

科目終了試験:70% 出席評価点20% 平常評価点10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版 2019.

《授業外における学習方法》

授業における小テストや配布プリント・授業内容の復習をしっかりと行い授業に臨む

《履修に当たっての留意点》

医療的ケアは利用者に対して直接的な影響を与えるケア技術である。正しい知識・技術の取得を持って安全な医療的ケアを行える様に介護福祉士を目指す。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	医行為とはどういうことか、その法的理解などについて理解する 介護福祉職等における喀痰吸引制度と「医療的ケア」について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション 医療的ケアとは 医行為とは(法的な理解)について		
第2回 講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療、医療の倫理について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	医療の倫理、倫理上の原則、自己決定の権利、個人情報の保護 利用者、家族に対する説明と同意について		
第3回 演習形式	授業を通じての到達目標	個人の尊厳と自律について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	個人の尊厳と自律、利用者の尊厳を守り、自律を助ける支援、 利用者、家族の気持ちの理解について		
第4回 演習形式	授業を通じての到達目標	喀痰吸引制度(社会福祉士及び介護福祉士法の改正)について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	医療制度とその変換、医療提供のしくみ、家族のケア負担とその解決法、社会福祉士及び介護福祉士法の改正、改正法による喀痰吸引法制度の概要について		
第5回 演習形式	授業を通じての到達目標	医療的ケアと喀痰吸引等の背景、その他の制度について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	喀痰吸引等研修、介護福祉士養成課程における医療的ケアの学習、社会福祉士及び介護福祉士法以外の法制度について		

授業の方法		内 容			授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	安全に喀痰吸引や経管栄養を提供する重要性を理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	喀痰吸引や経管栄養の安全な実施、リスクマネジメントの考え方と 枠組み、ヒヤリハット、アクシデント報告、その書き方について		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	救急蘇生について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	救急蘇生とは、必要性、一時救急救命、救急蘇生、救急蘇生法の実 際、AEDについて		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	清潔保持と感染予防について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	感染とは、地域集団、施設・組織としての予防策、手洗い・うがいの基本、 知識と手順について、手洗いの演習実施		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職の感染予防について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	介護福祉職の健康管理、ワクチン接種とは・原理と種類、使い捨て手袋や ガウン等の使用の必要性、標準予防策について、タダシイマスクやエプロ ンのつけ方の実施		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	療養環境の清潔、消毒法について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	環境の違いや感染性のある体液、嘔吐・排泄物の扱い、医療廃棄物の処 理について		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	感染性廃棄物の処理のしかたについて理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	ビニール袋を使った簡易エプロンの作成、模擬吐物の処理の実施演習		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	消毒と滅菌について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	消毒と滅菌の違い、消毒剤の使い方と留意点について		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	健康状態の把握について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	平常状態とは、県呼応上体を知る項目（バイタルサイン）、体温、脈拍、呼 吸、血圧について、測定の実施		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	急変状態について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	急変状態とは、急変時の対応と事前準備（報告、連絡文、応急手当、記 録）について		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	授業のまとめ、振り返り	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	振り返り		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	介護福祉特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	第1学年		学期及び曜時間	通年 水曜日	教室名	401
担当教員	ILC	実務経験とその関連資格	指導歴11年、第1種英語教員免許状			
《授業科目における学習内容》						
福祉現場でなされる会話の練習を通じて、現場特有の英語表現や専門用語を学ぶ施設の特徴、支援内容についての英文を読み、語彙力、読解力を身につけていく英語福祉検定受験に必要な語彙力、聴解力、読解力を身につける						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験(70%) + 出席(20%) + 提出物等(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
LET'S STUDY WELFARE IN ENGLISH(NPO法人医療福祉英語検定協会) 副教材:LET'S STUDY WELFARE IN ENGLISH 福祉英語専門用語集、福祉英語検定試験問題						
《授業外における学習方法》						
新出単語の予習、課題						
《履修に当たっての留意点》						
配布されたプリント類はファイリングして、学期ごとに自己評価シートを記入の提出のこと 本講義用にノートを1冊用意すること						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 自分の知っている英語を用いて、英作文ができる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ	
		各コマにおける授業予定	・語彙練習 ・英作文練習 ・オリエンテーション、グループワーク、発表についての説明			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 特別養護老人ホーム施設についての説明を英語で理解できる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ	
		各コマにおける授業予定	・語彙練習 ・黙読、音読練習 ・内容理解、重要表現の練習			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 養護老人ホーム施設についての説明を英語で理解できる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ	
		各コマにおける授業予定	・語彙練習 ・黙読、音読練習 ・内容理解、重要表現の練習			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの語彙を用いて、特別養護老人ホーム施設、養護老人ホーム施設について簡単な英語を用いて、説明ができる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ	
		各コマにおける授業予定	グループワーク、発表			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 デイケアサービスセンターについての説明を英語で理解できる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ	
		各コマにおける授業予定	・語彙練習 ・黙読、音読練習 ・内容理解			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 老人保健施設についての説明を英語で理解できる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	・語彙練習 ・黙読、音読練習 ・内容理解、重要表現の練習		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの語彙を用いて、特別養護老人ホーム施設、養護老人ホーム施設について簡単な英語を用いて、説明ができる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	グループワーク、発表		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 身体障害者療護施設についての説明を英語で理解できる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	・語彙練習 ・黙読、音読練習 ・内容理解、重要表現の練習		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 身体障害者授産施設についての説明を英語で理解できる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	・語彙練習 ・黙読、音読練習 ・内容理解、重要表現の練習		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの語彙を用いて、身体障害者療護施設、身体障害者授産施設施設について簡単な英語を用いて、説明ができる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	グループワーク、発表		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 児童養護施設についての説明を英語で理解できる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	・語彙練習 ・黙読、音読練習 ・内容理解、重要表現の練習		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 知的障害児施設についての説明を英語で理解できる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	・語彙練習 ・黙読、音読練習 ・内容理解、重要表現の練習		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 児童自立支援施設についての説明を英語で理解できる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	・語彙練習 ・黙読、音読練習 ・内容理解、重要表現の練習		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの語彙を用いて、知的障害児施設、児童自律支援施設または肢体不自由児施設について簡単な英語を用いて、説明ができる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	グループワーク、発表		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	それぞれの学習項目における理解度、到達度を自分で確認し、今後の自主学習に活かすことができる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	後期試験とまとめ		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	障害の理解		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	1学年		学期及び曜時間	通年 火4限	教室名	401教室
担当教員	菊本智泰	実務経験と その関連資格	社会福祉士 障がい者施設勤務 サービス管理責任者 介護職員初任者研修講師			
《授業科目における学習内容》						
<p>障害者児を取り巻く環境と法整備の状況や変遷等の理解。 多岐にわたる障害者児の心身機能、環境や関わり方と介護福祉士として行う支援への活用法。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:70% 2. 出席状況:20% 3. 授業(演習含む)態度:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>最新 介護福祉士養成講座「障害の理解」(中央法規出版) 最新 介護福祉全書「障害の理解」(メヂカルフレンド社) その他必要に応じて講義内で紹介</p>						
《授業外における学習方法》						
講義にて取り扱う教科書内容の事前確認、福祉に関する報道等の情報把握、その他講義内にて伝達						
《履修に当たっての留意点》						
<p>講義や福祉に関して不明なこと、疑問に感じたことは質問して下さい。 講義、演習において皆さんに意見を求めることがありますので、積極的な発言を期待します。</p>						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	福祉に関連する法令を理解し、法令ごとの対象、範囲等を説明 できる。	教科書		
		各コマに おける 授業予定	障害者児に関する法的概要と関連法令			
第 17 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	手帳制度について、その対象者や意義、交付、利用方法につい て説明できる。	教科書		
		各コマに おける 授業予定	各種障害者手帳について(取得、利用等)			
第 18 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	補装具等の種類を理解し、対象者や正しい使用方法を説明でき る。	教科書、 補装具支給事務 ガイドブック	補装具等を事前に調べ る	
		各コマに おける 授業予定	補装具、日常生活用具について			
第 19 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	サービスの種別、制度の変遷を理解できる。	教科書、 障害福祉サービ スの利用につい て (冊子)	障害福祉サービス種別 の把握	
		各コマに おける 授業予定	障害福祉サービスの概要			
第 20 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	居宅系サービスの種別、それぞれの提供サービス内容を理解でき る。	教科書、 障害福祉サービ スの利用につい て (冊子)		
		各コマに おける 授業予定	障害福祉サービスの体系(居宅系サービス)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	施設系サービスの種別、それぞれの提供サービス内容を理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害福祉サービスの体系 (施設系サービス、地域生活支援事業)		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害福祉に関連する各職種の業務を理解し、連携の意義等について具体的に説明できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	他(多)職種の理解と連携について		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	サービス利用や計画の意義を理解し、支援実施に向けた過程を説明できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害福祉サービス利用の具体的過程と支援 (計画から支援へ)		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者児の地域生活における現状を理解し、課題等を考えることができる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	地域生活を基本とした障害者児の生活について		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者差別、歴史的変遷を理解し、自分の見解を持つことができる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害者児の権利擁護について		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者虐待の内容や防止、身体拘束廃止に関する取り組みについて理解する。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害者虐待防止について		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	状態像に応じた有用なコミュニケーション方法を理解し、実践できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害状態に応じたコミュニケーション		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者児のみでなく、その家族や生活、心理状態を理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害者児とその家族の理解と関わり、支援について		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者児の支援体系、地域生活等について自分の言葉で必要な説明ができる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	総括講義		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業内容を理解し、試験問題に対して適切に解答できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	今までの授業の振り返りと試験対策		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	人間と尊厳と自立		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時限	前期 月1限	教室名	401
担当教員		実務経験とその関連資格	社会福祉士として、知的障がい者施設勤務10年 介護実習指導者			
《授業科目における学習内容》						
1年の前期であり、学生自体も自分の自立を意識していない状況にあるため、まず自己覚知から他者を知ること意識した授業を行っていく。グループワークを通して、他者理解を深め考察していく展開とする。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% レポート 20% グループワークの中の態度・発表 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉養成講座人間の理解1中央法規出版 参考図書:人間の理解(メヂカルフレンド社)						
《授業外における学習方法》						
教科書の演習の予習・復習(授業で範囲指定)						
《履修に当たっての留意点》						
演習時の学習態度・意欲						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の尊厳を福祉のもつ意義から考えることができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	人間の尊厳について個々で考えてみる。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 授業内容について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の尊厳と自立が人間の幸せに深く関わっていることを理解できるようになる。	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んてくる。	
		各コマにおける授業予定	人間の尊厳と自立 人間を理解する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士としての倫理観を学び、個人の尊厳、基本的人権について基礎知識を身につけることができるようになる	参考:メヂカルフレンド社 プリント配布p8~16	教科書の指定範囲を読んてくる。	
		各コマにおける授業予定	社会福祉を考える 人権思想から尊厳を考える			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	法律からの尊厳を知ることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んてくる。	
		各コマにおける授業予定	障害者基本法 介護保険について			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	社会福祉領域での人権、福祉理念を理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んてくる。	
		各コマにおける授業予定	人権・福祉理念の変換について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	人権思想がどのような経緯で誕生したか理解できるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでもらう。
		各コマにおける授業予定	戦後の新たな福祉のあり方について考える p50の演習		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の尊厳、人権.権利擁護を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでもらう。
		各コマにおける授業予定	人権尊重と権利擁護		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の尊厳と自立が生活支援においてどのように活かされているか学ぶことができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでもらう。
		各コマにおける授業予定	生活を通して人間の尊厳と自立・自律を考える		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通して尊厳と自立を考える、他者の理解を深めることが出来るようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでもらう。
		各コマにおける授業予定	振り返り 演習 (p77～78)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護を必要とする人々の自立支援の理解をすることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでもらう。
		各コマにおける授業予定	介護における自立支援		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	尊厳を持って介護を必要とする人への関わり方を学べ介護福祉士の役割を理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでもらう。
		各コマにおける授業予定	介護の尊厳について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護における自立支援を学び又国際生活機能分類の特徴を理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでもらう。
		各コマにおける授業予定	自立支援とICF		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護場面において尊厳の保持がどう行われているか事例から学ぶことができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでもらう。
		各コマにおける授業予定	介護における尊厳の保持		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	利用者の生活理解をし、支援することが、生きる意欲につながることを知ることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでもらう。
		各コマにおける授業予定	事例を通して自己決定について考える		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	尊厳と自立を社会福祉を通し、理解できたか確認することができる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでもらう。
		各コマにおける授業予定	振り返りとまとめ、試験対策をする		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護発達と老化の理解		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	発達と老化の理解 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時間	前期 木2限目	教室名	402
担当教員	川端 良幸	実務経験と その関連資格	鍼灸師・柔道整復師 関西医療大学 保険医療学修士			
《授業科目における学習内容》						
人間の成長と発達の過程における、身体的・心理的・社会変化および老化が生活に及ぼす影響について理解しライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎的知識を学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
試験評価 80% 出席評価 10% レポート10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 編集 介護福祉士養成講座編集委員会						
《授業外における学習方法》						
解剖学と生理学の知識をつけておくのが望ましい、こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習する事						
《履修に当たっての留意点》						
介護を学ぶ上においての基礎知識の一つであるので、板書をしっかりノートに書き込んでおく事						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	スキヤモンの発達曲線を理解できるようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	人間の成長と発達の基礎的知識			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達理論と発達課題を理解できるようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	人間の発達段階と発達課題			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体的機能の成長と発達を理解できるようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	人間の発達段階と発達課題			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理的機能の発達を理解できるようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	人間の発達段階と発達課題			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会的機能の発達を理解できるようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	人間の発達段階と発達課題			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年期の定義と老化を理解できるようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老年期の特徴と発達課題		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年期の発達課題を理解できるようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老年期の特徴と発達課題		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年期をめぐる今日的課題を理解できるようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老年期の特徴と発達課題		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう身体的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう身体的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう心理的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう心理的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう社会的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう社会的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	テストによって理解度を確認し、知識の定着を図る	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	まとめ・前期試験		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	人間関係とコミュニケーション		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	6 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	通年 木3限	教室名	402
担 当 教 員	今村 裕紀子	実務経験と その関連資格	社会福祉学修士 社会福祉士 中学校・高等学校 公民科 教員免許状			
《授業科目における学習内容》 「人間の理解」分野にあたる「人間の尊厳と自立」、「人間関係とコミュニケーション」、「介護実践におけるチームマネジメント」は、介護福祉士としての根幹である倫理基盤、コミュニケーションの基礎、チームで働く能力の基礎を培う科目である。このうち、人間関係とコミュニケーションでは、コミュニケーションの基礎とそれをもとにしたチームでの実践について学習する。生活支援が主な職務である介護職において利用者との関係づくりは必須であるが、加えてさまざまな専門職とチームで介護を実践するためには介護職のみならず他専門職との連携も重要となる。このようにさまざまな関係づくりに必要なコミュニケーション技法について専門的な知識を得ることで、人間関係のあり方について考察できるようになることを授業の到達点とする。						
《成績評価の方法と基準》 試験(70%) 出席(20%) プリント学習・受講態度(10%)を基準とし、総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 ○ 使用教材:「新・介護福祉士養成講座1 人間の理解」(第2章) ○ 授業に必要な内容はプリント等で適宜配布するため、ファイルに綴じるなどして管理すること ○ 参考文献:社会福祉六法 介護福祉用語辞典						
《授業外における学習方法》 ○ 1年前期履修科目「人間の尊厳と自立」「コミュニケーション技術」と関連して理解すること ○ 信頼できるサイトで確認できるニュースや新聞などで世界・日本・地域社会で起こっている様々な出来事に関心を持っておくこと						
《履修に当たっての留意点》 介護・子育てについての悩みは誰もが一度は関わることのある身近な課題であるにもかかわらず、家庭内で起こっている出来事であるがゆえに、閉鎖的で表面化しにくいという側面を持っています。福祉職である介護福祉士は容易にこの課題に触れることができる専門職であるがゆえに、安易にとらえてはならない立場にあると言えます。介護福祉士が適切なインテークを行い、課題を重篤化させないようにするにはどのような態度が求められるのかをつかんでください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	1. 授業オリエンテーション 2. 他者理解と自己理解	4/10 PC・プロジェク ター	テキスト該当ページを一 読しておくこと	
	各コマに おける 授業予定	○ 授業オリエンテーション・講義概要と評価方法の確認 ○ テキスト第2章 1節—1 人間の誕生と介護の関係				
第2回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	1. 他者理解と自己理解(2)	4/17 PC・プロジェク ター	テキスト該当ページを一 読しておくこと	
	各コマに おける 授業予定	○ テキスト第2章1節—2 自分と他者の理解 ・ 自分や他者を理解するにはどのようなことが演習を通して理解する(演習:「私は…」、自己紹介、ジョハリの窓等) ・ ”自我”について理解する				
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	1. 他者理解と自己理解(3) 2. エリクソンの発達段階(1)	4/24 PC・プロジェク ター	テキスト該当ページを一 読しておくこと	
	各コマに おける 授業予定	○ テキスト第2章1節—2 自分と他者の理解 ○ テキスト第2章1節—3 発達心理学から見た人間関係 ・ エリクソンの発達段階(1)を理解する				
第4回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	1. エリクソンの発達段階(2)	5/8 PC・プロジェク ター	テキスト該当ページを一 読しておくこと	
	各コマに おける 授業予定	○ テキスト第2章1節—3 発達心理学から見た人間関係 ・ エリクソンの発達段階(2)を理解する				
第5回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	1. 社会心理学から見た人間関係(1)	5/15 PC・プロジェク ター	・課題レポートの下書き を作成して持参すること。 ・テキスト該当ページを 一読しておくこと	
	各コマに おける 授業予定	○ テキスト第2章1節—4 社会心理学から見た人間関係 ○ 人間の「認知」について演習を通して理解する				

授業の方法				
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 1. 社会心理学から見た人間関係(2)	5/22 PC・プロジェクト	テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第2章1節-4 社会心理学から見た人間関係 ○ 「集団」について理解する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 1. 社会心理学から見た人間関係(2)	5/29 PC・プロジェクト	テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第2章1節-5 人間関係とストレス ○ 「ストレス」とその対処法について演習を通して理解する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 1. コミュニケーションの概念	6/5 PC・プロジェクト	テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第2章2節-1 コミュニケーションの概念 ・ コミュニケーションとは何か、基本構造について理解する		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 1. コミュニケーションの手段(1)	6/12 PC・プロジェクト	テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第2章2節-3 コミュニケーションの手段 ○ パーバルコミュニケーションについて考える ○ 事例を使ってパーバルコミュニケーションについて考える		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 1. コミュニケーションをとる場所づくり 2. ノンバーバルコミュニケーション(1)	6/19 PC・プロジェクト	テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第2章2節-3 コミュニケーションの手段 ○ コミュニケーションをとるために適しているTPOについて考える。場所の印象が相手に伝える雰囲気について学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 1. ノンバーバルコミュニケーション(2)	6/26 PC・プロジェクト	・宿題: Essential Interview ・テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第2章2節-3 コミュニケーションの手段 ○ ノンバーバルコミュニケーションとは何かを理解する ○ 様々なノンバーバルコミュニケーションが行われている場面について考える		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 1. Essential interview 2. 対人援助の基本となる人間関係とコミュニケーション	7/3 PC・プロジェクト	テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定	○ コミュニケーション技法による練習問題/Essential interview ○ テキスト第2章3節-1 対人援助の基本となる人間関係とコミュニケーション ○ コミュニケーションが発展するときと後退する時を理解する		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 1. 対人援助における基本的態度	7/10 PC・プロジェクト	テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第2章3節-2 対人援助における基本的態度 ○ 受容・共感・傾聴の意味と内容を理解する		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 1. バイステックの7原則(1)	7/17 PC・プロジェクト	・テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定	○ バイステックの7原則とは何かを理解する ○ 個別化・意図的な感情表出・統制された情緒的関与・受容について演習を通じて理解する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 1. バイステックの7原則(2) 2. 前期試験指示	7/24 PC・プロジェクト	・課題レポートの下書きを作成して持参すること。 ・テキスト該当ページを一読しておくこと ・課題レポート(2本)の下書きを持参すること
	各コマにおける授業予定	○ 非審判的態度・自己決定・秘密保持について演習を通じて理解する ○ 前期試験範囲と対象レポートについて説明する		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	人間関係とコミュニケーション		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	6 (4) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時間	通年 木3限	教室名	402
担当教員	今村 裕紀子	実務経験と その関連資格	社会福祉学修士 社会福祉士 中学校・高等学校 公民科 教員免許状			
《授業科目における学習内容》						
「人間の理解」分野にあたる「人間の尊厳と自立」、「人間関係とコミュニケーション」、「介護実践におけるチームマネジメント」は、介護福祉士としての根幹である倫理基盤、コミュニケーションの基礎、チームで働く能力の基礎を培う科目である。このうち、人間関係とコミュニケーションでは、コミュニケーションの基礎とそれをもとにしたチームでの実践について学習する。生活支援が主な職務である介護職において利用者との関係づくりは必須であるが、加えてさまざまな専門職とチームで介護を実践するためには介護職のみならず他専門職との連携も重要となる。このようにさまざまな関係づくりに必要なコミュニケーション技法について専門的な知識を得ることで、人間関係のあり方について考察できるようになることを授業の到達点とする。						
《成績評価の方法と基準》						
試験(70%) 出席(20%) プリント学習・受講態度(10%)を基準とし、総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ○ 使用教材:「新・介護福祉士養成講座1 人間の理解」(第2/3章) ○ 授業で必要な内容はプリント等で適宜配布するため、ファイルに綴じるなどして管理すること ○ 参考文献:社会福祉六法 介護福祉用語辞典 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年前期履修科目「人間の尊厳と自立」「コミュニケーション技術」と関連して理解すること ○ 信頼できるサイトで確認できるニュースや新聞などで世界・日本・地域社会で起こっている様々な出来事に関心を持っておくこと 						
《履修に当たっての留意点》						
介護・子育てについての悩みは誰もが一度は関わることのある身近な課題であるにもかかわらず、家庭内で起こっている出来事であるがゆえに、閉鎖的で表面化しにくいという側面を持っています。福祉職である介護福祉士は容易にこの課題に触れることができる専門職であるがゆえに、安易にとらえてはならない立場にあると言えます。介護福祉士が適切なインテークを行い、課題を重篤化させないようにするにはどのような態度が求められるのかをつかんでください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 授業オリエンテーション 2. 組織におけるコミュニケーション	10/ PC・プロジェク ター	テキスト該当ページを一 読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	○ テキスト第3章4節-1 組織の条件とコミュニケーションの特徴 /2 組織における情報の流れ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 組織において求められるコミュニケーション	10/ PC・プロジェク ター	テキスト該当ページを一 読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	○ テキスト第3章4節-3 組織において求められるコミュニケーション ○ プレーンストーミング、ティーチングとコーチングの違いについて理解する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. ヒューマンサービスとしての介護サービス	10/ PC・プロジェク ター	テキスト該当ページを一 読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	○ テキスト第3章1節-1 ヒューマンサービスとしての介護サービス ○ サービス業の特性とヒューマンサービスの特性を理解する			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 介護現場で求められるチームマネジメント 2. 介護実践におけるチームマネジメントの取り組み	10/ PC・プロジェク ター	テキスト該当ページを一 読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	○ テキスト第3章1節-2 介護現場で求められるチームマネジメント 3 介護実践におけるチームマネジメントの取り組み ○ リスクマネジメントとケアマネジメントを理解する ○ チームマネジメントの重要性と人材育成について理解する			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. ケアを展開するためのチームマネジメント(1)	レポート学習	・今までの学びから介護福祉士の専門性や職務内容をまとめる ・他専門職の専門性や職務内容を調べる	
		各コマにおける授業予定	○ テキスト第3章-2 ケアを展開するためのチームマネジメント ○ 介護福祉士の専門性と他専門職の専門性の以外について考える			

授業の方法				
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 1. ケアを展開するためのチームマネジメント(2)	10/ PC・プロジェク ター	・課題レポートの報告を準備する ・テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第3章-2 ケアを展開するためのチームマネジメント ○ チームでケアをするときのマネジメントの流れと留意点について理解する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 1. 介護福祉士のキャリアと求められる実践力	10/ PC・プロジェク ター	テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第3章-3 介護福祉職のキャリアと求められる実践力 ○ 初任期・中期・ベテラン期それぞれの時期に求められる力について理解する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 1. 介護福祉士としてのキャリアデザイン(1)	10/ PC・プロジェク ター	テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第3章-2 介護福祉職としてのキャリアデザイン ○ 介護福祉士が延ばすことのできるキャリアの理解を介護福祉士の講演から理解し、自己のキャリアデザインにつなげられる		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 1. 介護福祉士としてのキャリアデザイン(2)	10/ PC・プロジェク ター レポート学習	・課題レポートの報告を準備する ・テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第3章-2 介護福祉職としてのキャリアデザイン ○ 自己のキャリアデザインを明確にする ○ 介護福祉士が延ばすことのできるキャリアの理解と、OJT・OFF-JTがどの段階でどのように開かれているか理解する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 1. 介護福祉士としてのキャリアデザイン(3)	10/ PC・プロジェク ター	・課題レポートを仕上げる ・テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第3章-2 介護福祉職としてのキャリアデザイン ○ 自己のキャリアデザインを明確にする ○ 自己研鑽の場について実施されている研修についての理解、自分自身に必要な県産とは何かをまとめる。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 1. 介護サービスを支えるための組織の構造(1)	10/ PC・プロジェク ター レポート学習	・課題レポートの報告を準備する ・テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第3章-4 介護サービスを支える組織の構造 ○ 組織構造について調べ活動を行う		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 1. 介護サービスを支えるための組織の構造(2)	10/ PC・プロジェク ター	・課題レポートを仕上げる ・テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第3章-4 介護サービスを支える組織の機能と役割 ○ 組織構造について調べ活動の報告を行う		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 1. 介護サービスを支える組織の管理(1)	10/ PC・プロジェク ター	テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第3章-4 介護サービスを支える組織の管理 ○ 委員会活動・労務管理・人材育成・災害や感染症の対策について理解する		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 1. 介護サービスを支える組織の管理(2)	10/ プロジェク ター レポート学習	テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第3章-4 介護サービスを支える組織の管理 ○ 災害や感染症の対策について理解する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 テスト対策	10/ PC・プロジェク ター	・今までの学習で理解が不十分である点をチェックしておくこと
	各コマにおける授業予定	○ 前後期を通した学習の振り返りを行う ○ 試験対策のための国家試験問題を学習する		